

神奈川大学資格教育課程通信

第40号

編集・発行 神奈川大学資格教育課程センター運営委員会
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
☎045-481-5661(代) 内2051

YOKOHAMAの地で 時代の要請に応える教育を

学長 小熊 誠



所属学部・学科の学修のみならず、各課程独自の科目の履修や実習を必要とする各課程の資格取得のために努力される学生の皆さんには、多忙な毎日だと思いますが、皆さんのその努力は、まさに「アクティブ・ラーニング」

であり、その経験を通して、自らの進路や生き方の幅を広げるといふ素晴らしい時間であることを誇りに思っています。そして指導に携わる教職員の皆さま、わが国の中等教育、社会教育、学芸員、日本語教育等における確固たる実績と高い評価は、それぞれの課程に関わる教職員の皆さまのお力添えによるものであり、本学の教職員を代表して、心から感謝申し上げます。今後の運営にも、変わらぬご協力をいただきますようお願い申し上げます。さて、本学は2028年

の創立100周年とその先を見据え、2021年度のみなとみらいキャンパス開設や2023年度の理工系学部の再編など、現在、大きく変化していますが、社会もまた大きな変化の中にあります。急速な技術革新、Society 5.0、SDGsが目指す未来、国境を超える人類の課題、紛争などの国家間対立など、予測不可能な未来において、どのような人材が求められるのか。そこで必要とされるのは、データサイエンスも含めた普遍的な知識や汎用的な技能をもち、それらを活用し、まさに「人」にしか

できないことを成し遂げていく、そのような力ではないかと思えます。そこでは、地域との連携、産業界との協力、グローバル化への対応といったこともこれまで以上に求められるでしょう。神奈川大学は、2023年度からすべての学部が開港から常に国際都市として世界と接してきたYOKOHAMAの地に集結することとなります。YOKOHAMAの地で総合大学としての強みを生かし、教職社会教育・学芸員・日本語教員の資格教育課程においても、時代の要請に応える人材育成を進めてまいります。

魅力的な教師を一人でも多く

人間科学部特任教授 安部 賢一



2022年3月まで公立学校の校長を務めてきた私は、中教審における検討開始から全面実施に至るまで、校長会を通してすべてのプロセス

げれば、小学校における外国語の教科化は学級担任制の小学校にとって大きな負担でした。一方で、近年はこうした改訂に対して教員は押し並べて従順で前向きです。それは20年前の総合的な学習の時間の創設でも経験済みでした。ところが今回は、これまで比べて教育委員会も学校現場も驚くほど改訂に向けた活気に欠けました。その原因の一つが「働き方改革」です。2016年前後から教育委員会事務局にも担当が設置され、業務内容や時間外勤務の見直しが行われました。長時間勤務は学校現場の大きな課題です。働き方改革は不可避ですが、学習指導要領の改訂に伴う教育課程の更新には、日常の授業と並行して

膨大な作業が必要で、勢い時間外勤務が避けられませんでした。しかし、行政が中身を問わずに無機質に運用したために、教員の自発的な取組が結果的に抑制されたのではないかと考えています。もう一つはコロナ禍です。2020年3月の全国的な臨時休校から始まった新型コロナウイルスの感染拡大によって、多くの学校で感染防止を優先した教育活動が強いられました。また、全国的に前倒しされたGIGAスクールへの急激な展開も学習指導要領の改訂の趣旨から意識を遠ざける一因になりました。

さらに、コロナ禍に伴う児童生徒の変容も見逃せません。「コロナ不安」と称する感染不安を理由にした欠席は不登校との境界を曖昧にし、学校を避ける子どもとどう向き合うのか、その対応に苦慮しました。「事件は現場で起きている！」は、映画、劇場版『踊る大捜査線』で放った主人公の言葉ですが、学校もまさにそういうところで理屈通りにはいきません。学習指導要領の理念通りに日本の教育が進むかどうかは、ひとえに学校現場の教員次第というわけです。実務家教員として着任した私は、そうした学校の現実の姿を伝えつつ、それを乗り越える術と教育者としての中心軸とも言える人間性を磨く必要性を説くことと心得ています。担当する教職課程でも、人間味あふれた魅力的な教師を一人でも多く教壇に送りたいと考えながら講義をしています。

戦後9回目の改訂となる現行の学習指導要領は、小学校では2020年度、中学校では2021年度から全面実施となり、高等学校では2022年度の入学生から年度進行中です。中教審が最初に諮問する前年の2013年3月から

今回の改訂は総合的な学習の時間が創設された1998、1999年度改訂以来の大きな改訂と言えますが、同時にそれは学校現場の負担も大きいということを意味します。一例を挙

改訂に併せて前向きです。その原因の一つが「働き方改革」です。2016年前後から教育委員会事務局にも担当が設置され、業務内容や時間外勤務の見直しが行われました。長時間勤務は学校現場の大きな課題です。働き方改革は不可避ですが、学習指導要領の改訂に伴う教育課程の更新には、日常の授業と並行して

さらに、コロナ禍に伴う児童生徒の変容も見逃せません。「コロナ不安」と称する感染不安を理由にした欠席は不登校との境界を曖昧にし、学校を避ける子どもとどう向き合うのか、その対応に苦慮しました。「事件は現場で起きている！」は、映画、劇場版『踊る大捜査線』で放った主人公の言葉ですが、学校もまさにそういうところで理屈通りにはいきません。学習指導要領の理念通りに日本の教育が進むかどうかは、ひとえに学校現場の教員次第というわけです。実務家教員として着任した私は、そうした学校の現実の姿を伝えつつ、それを乗り越える術と教育者としての中心軸とも言える人間性を磨く必要性を説くことと心得ています。担当する教職課程でも、人間味あふれた魅力的な教師を一人でも多く教壇に送りたいと考えながら講義をしています。

さらに、コロナ禍に伴う児童生徒の変容も見逃せません。「コロナ不安」と称する感染不安を理由にした欠席は不登校との境界を曖昧にし、学校を避ける子どもとどう向き合うのか、その対応に苦慮しました。「事件は現場で起きている！」は、映画、劇場版『踊る大捜査線』で放った主人公の言葉ですが、学校もまさにそういうところで理屈通りにはいきません。学習指導要領の理念通りに日本の教育が進むかどうかは、ひとえに学校現場の教員次第というわけです。実務家教員として着任した私は、そうした学校の現実の姿を伝えつつ、それを乗り越える術と教育者としての中心軸とも言える人間性を磨く必要性を説くことと心得ています。担当する教職課程でも、人間味あふれた魅力的な教師を一人でも多く教壇に送りたいと考えながら講義をしています。

表1 2022年度教職課程登録者・内諾者・教育実習者数

| | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | 大学院 | 科目等履修生 | | |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|--------|----|--|
| | 仮登録 | 本登録 | 本登録 | 内諾 | 本登録 | 内諾 | 実習 | 実習 | 本登録 | 内諾 | 実習 | |
| 法学部 | 40 | 19 | 0 | 12 | 0 | 2 | 9 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 経済学部 | 66 | 42 | 2 | 23 | 1 | 0 | 16 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 経営学部 | 30 | 12 | 1 | 7 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 外国語学部 | 43 | 42 | 1 | 21 | 1 | 3 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 国際日本学部(国語系) | 38 | 5 | 0 | 11 | | | | | | | | |
| 国際日本学部(社会系) | | 8 | 0 | 8 | | | | | | | | |
| 人間科学部(社会系) | 76 | 16 | 0 | 9 | 1 | 0 | 6 | 0 | 0 | 1 | 2 | |
| 人間科学部(保健体育系) | | 30 | 0 | 27 | 0 | 0 | 22 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 理学部 | 95 | 69 | 0 | 47 | 0 | 0 | 30 | 1 | 1 | 1 | 4 | |
| 工学部 | 36 | 25 | 0 | 20 | 0 | 2 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 建築学部 | 4 | | | | | | | | | | | |
| 計 | 428 | 268 | 4 | 185 | 3 | 7 | 110 | 1 | 1 | 2 | 8 | |

注：1. 「内諾」は2023年度教育実習の「内諾依頼者数」を示す。
2. 「実習」は2022年度教育実習の「実施者数」を示す。

表2 2023年度教員採用者数

| | 在学生 | 卒業生 |
|---------------|-----|-----|
| 法学部(大学院生含む) | 2 | 2 |
| 経済学部 | 3 | 1 |
| 経営学部 | 0 | 1 |
| 外国語学部(大学院生含む) | 5 | 5 |
| 人間科学部(社会系) | 0 | 1 |
| 人間科学部(保健体育系) | 2 | 4 |
| 理学部(大学院生含む) | 7 | 9 |
| 工学部 | 2 | 1 |
| 計 | 21 | 24 |

2022年度各種課程活動報告

教職課程

活動は多岐に渡りますが、今年度は次の5点に絞ってご報告します。

JYSSP

2010年度からスタートしたJYSSPでは、教職を目指す学生たちが「学校ボランティア活動」を中心に、様々な理由で支援を必要とする青少年にサポートを行っています。次の2つの事業がサポート活動の柱です。

①学校ボランティア(大学近隣の小・中・高等学校、地区センター)

②JINRIKANA学習塾: 神奈川大学横浜キャンパス近隣の中学生を対象とした個別学習支援

なお、この2つの活動は、世間から注目をされ、また、文科省の実地視察(2011年度)や大学基準協会の実地視察(2017年度)で高評価を得ています。

次に、2022年度の活動について、JYSSP運営管理をされている鈴木英夫法学部特任教授のご報告を要約してお伝えします。

今年度より横浜キャンパスとみどりキャンパスの活動を一体として調整するようになった点が大きな変化です。

力しています。

神大教員ネットワーク

「神大教員ネットワーク」(神奈川大学同窓教員のネットワーク)では、卒業生教員相互の交流を図り、学習の機会を提供することを目的とし、「若手教員の集い」を実施しました(2022年8月9日 みどりキャンパス)。

今年度の「集い」では、中堅の教員に自身の経験を踏まえた学校現場の事例報告をしていただき、後半にその報告をもとに自由に討議がなされました。活発な情報・意見交換ができて有意義でした。

教員採用試験対策

2022年度、教職課程では、安部賢一 人間科学部特任教授のご指導のもと、様々な対策プログラムが実施されました。自治体別模試、全国公開模試、論文文対策講座、教員採用試験二次試験対策、「専門教養」対策講座、「教職教養」対策講座、「教採対策面接集中セミナー」などの様々な対策・指導が行われました。また、「英語」や「保健体育」の免許が取得できる学部学科では独自の様々な対策指導が行われました。

教員採用試験二次面接の直前には学生がひっきりなしにJYSSP事務局に入室し、学修アドバイザーからさまざまな助言を受けていました。その他、学校ボランティア活動をする学生、教職を目指す学生からの相談や、学校ボランティア活動の指導、学校との調整などに尽力しています。

教育研究交流会

2023年2月25日に「2022年度神奈川大学教育研究交流会」が横浜キャンパスで開催されました。第1部では、「不登校問題と支援

というテーマで安部賢一 人間科学部特任教授に基調講演を行っていただき、その後出席者の方々と意見交換を行いました。出席者は、卒業生教員、在学生、近隣学校等の関係者、学校教員経験者、本学教員等です。第2部は、学校ボランティア等の「JYSSPの展開」がテーマで、ボランティア活動を行なっている学生の体験報告を基調としたグループディスカッションが行われ、活発な議論が繰り広げられました。



教員採用試験対策講座の様子

神奈川大学教職課程に関する打ち合わせ

2023年3月11日に、教職課程の非常勤講師と学部学科及び教職課程の専任教員の間で、2022年度を振り返り、2023年度に向けた

り返り、2023年度に向けたよりよい教育のあり方について情報・意見交換をする機会として「教職課程に関する打ち合わせ」が開催されます。オンライン会議システム(Zoom)での開催となります。積極的な交流が図れたらと思います。

大西 勝也

社会教育課程

社会教育課程は、ひととまちをつなぐ専門職です。本学では「社会教育士(称号)」と「社会教育主事(任用資格)」のダブル取得が可能です。2022年度現在は履修登録者数72名(2年生23名、3年生36名、4年生12名、大学院生1名)とコロナ禍もあり一時的に履修生は増加傾向にあります。

授業は、横浜とみどりキャンパスの各キャンパスにて13科目26単位、計26科目を開講しています。大半は、ソーシャルコーデイネーターを養う実践的授業です。2022年度の授業の一端を紹介します。

齋藤 ゆか

学芸員課程

2022年度より神奈川大学理学部に着任いたしました。理学部生を対象とした学芸員課程の実習を担当するようになりました。自身の研究でも学生の頃から博物館のお世話になっておりますので、学芸員の養成課程に関わる機会をいただけて大変光栄に存じております。

佐藤 たまき

日本語教員養成課程

2022年度は、2年次21名が日本語教員養成課程に履修登録しました。4年次の日本語教育実習生は3名で、本課程開始以来最少人数でした。日本語教育実習では、

前期から学内で授業実践に関する指導を、11月には飛鳥学院(横浜市中区)で留学生対象の初級日本語教育の教壇実習を行いました。飛鳥学院の先生方には教育実習準備段階から非常に丁寧にご指導頂き、実習成果も高く評価して頂きました。本課程ではピラーニングを重視し、日本語教育分野の授業見学、フィールドワーク、専門家の講演会なども実施しています。2022年度の実習生(4年次)はコロナ禍でありながらも、受講生たちは学芸員の業務や役割について体験を通じて学ぶ貴重な機会を得たことと思います。またコロナ禍の影響がある中でご協力下さった博物館等に心よりお礼申し上げます。

富谷 玲子

2022年度 教職課程教育実習記録より

2022年度、教職課程では全国の中学校・高等学校の協力のもと、119名が教育実習を行いました。実習生は「教育実習記録」に、実習中の出来事を振り返り、気づきや学びをまとめています。実習校の先生方からは暖かい指導・助言を記載していただいています。実習生の声と先生方からの助言を抜粋して紹介します。

課題は、生徒の興味関心を揺さぶることができるような発問ができないことでした。授業の導入を考えることが非常に難しく、面白くすることができませんでした。授業を見学させていただき、教科書の内容から大きく外れたことでも興味を引く導入になることがわかりました。導入を考える際に、私は内容に直結しやすいニュースばかり探していました。その結果、結局

と全く異なるものでした。最初の授業は、とにかく予定している部分を終わらせることに精一杯になってしまいました。これは生徒の学びに繋がらないと反省し、そこからどのようにしたら生徒に伝わるか、生徒の学びに繋がるかを自然に考えるようになっていきました。生徒たちが理解してくれたリアクションなどが次第に増えていき、とても嬉しかったです。(経済学部)

ほうとすることができました。生徒たちに頑張ってもらった結果、その分生徒たちは返してくれらると実感したため、頑張ってもらったと思いました。(外国語学部)

違うことでした。様々な先生の考え方に触れることで、自分の中で改めて考え直す必要があることや、自分の自信に繋がるものがあつて、とても勉強になりました。実習で自分の心情に大きな変化があつたことを今後の成長の糧にしていきたいです。(工学部)

★ 発問は、オープンクエスチョンとクローズドクエスチョンを意識してみても良いかもしれません。公民科の授業の場合、オープンクエスチョンを使いがちですが、導入で特定の主題に誘導したい時は、クローズドクエスチョンを1〜3回繰り返す方が有効な場合があります。(公民科)

指導教諭指導・助言欄より

★ 実習で挑戦した授業は、私が大学で学んだスタイルとは異なっていたため、最初はどのようにすれば良いかわからず苦戦しました。しかし、回数を重ねるうちに生徒ともコミュニケーションが取れるようになり、自身自身授業に対して前向きに学

★ 指導案で悩んだ時は、学習課題(中心発問)に戻ること。「何をわかる(考える)ことが大切なのか」を問うことで、授業の本筋が明確になり、無駄をそぎ落とせます。(社会科)

★ ことに気づき学ばれたと思います。授業は自分の中にある2割程度をアウトプットするくらいのつもりでちょうど良いものです。それだけ十分な教材研究が必要になります。授業見学をよく振り返って活かしてみてください。(社会科)

★ 授業後に悔しさを感じる姿勢をとっても嬉しく思います。その思い無しに授業力の向上はありません。生徒たちは教師そのものを映し出す鏡のような存在であることがあります。まず、教師が理解に徹することで、理解されることにつながるでしょう。(英語科)

120%の準備

人間科学部人間科学科 3年 大後 双葉

群馬県にある国立赤城青少年交流の家で、夏休みに社会教育実習を行いました。実習を通して、私は「あかぎ無限大キャンプ」の運営とボランティアの両方の立場を経験しました。キャンプの実施に向けて何度も足を運び、最初は自分に運営が務まるのか不安でしたが、職員の方や他の実習生、ボランティアの方々に支えられ最後までやり遂げることができました。その中で、「120%の準備」が必要だという所長からのお話がとても印象的でした。これは様々な人とコミュニケーションを取りながら、一歩先二歩先を考え行動

することが求められ、思ったよりも難しいものでしたが、自分で考えながら積極的に職員の方と連携を取り合うことで、急な予定変更や天候などにも臨機応変に対応することができました。今回の実習を経て、私は「相手のために思う」ということを知りました。この経験を活かして、今後も周りを見ながら「臨機応変な対応」や「120%の準備」を心がけていきたいと思えます。社会教育実習は、私にとって意味のあるとても貴重な時間でした。

博物館実習を終えて

歴史民俗資料学研究所歴史民俗資料学専攻 博士前期課程 2年 呉 珂

新型コロナウイルス感染症が激増している中、作業時間を短縮するなどの感染対策をし、神奈川県立金沢文庫で6日間の実習が始まりました。中世和紙の二次利用から当時の生活様式を理解し、国宝称名寺聖教資料・金沢文庫文書を実際に手にすることができ、とても感動しました。同館は仏教美術や古書、古文書を中心に扱っている博物館として、積極的に郷土資料を受け入れて郷土史研究に力を注いでいます。地元の方々に支えられている博物館は、地域社会の一員として博物館の責任を常に

学問の情熱

意識し、地域還元をしなればならないと改めて感じました。

とくに「学芸員は展示を通じて、社会に向けて資料の価値を付ける仕事」というお話を聞き、学芸員による仕事の意義を再確認することができました。学芸員の方々の講習では、それぞれの研究に対する情熱を垣間見ることができ、研究に対する真摯な姿勢に感銘を受けました。万難を排して今回の博物館実習を遂行していただいた神奈川県立金沢文庫の方々に心より感謝いたします。

日本語教育実習を終えて

経営学部国際経営学科 4年 酒井 彩良

横浜市の飛鳥学院で5日間の日本語教育実習を行いました。教壇実習では、学生たちにわかりやすく楽しい授業ができるかどうか、不安と緊張がありましたが、授業が始まると学生たちの反応も良く、私自身楽しみながら実習をすることができました。クラスの見学では、様々な先生の授業や学生とのやりとりを間近で見ることができ、大学の講義では学べない、現場の空気を味わうことができました。また、今回の実習では、初級、上級と様々なクラスで学生たちと交流する機会がありました。実際に学生と話をし、学生のことはもちろん、自

分のことについても初めて気が付いたことがたくさんあります。特に感じたのは、日本語教師は、授業だけが学生とのかかわりではないということです。円滑に授業を進めるために、そして実践的な会話を身につけてもらうためにも、学生とのコミュニケーションは重要だと改めて感じました。実習が始まるまでは、実習を無事に終えることを目標にしていましたが、実習を終えた今は、ここからスタートだと、一層やる気が出ました。今回の実習で見たことや学んだことは、今後日本語教育に携わっていく上で非常に有意義な経験となりました。

神奈川大学 心理・教育研究論集

発行 神奈川大学教職課程研究室

第52号

論文

- 「学習指導案 フォーマットサンプル 利用マニュアル」について 鈴木そよ子
- 中高理科教育法(3) 関口 昌秀
- 初等・中等教育における「素数」の指導の考察 榎本 里志
- 一人ひとりの児童の豊かな成長に寄り添う校内支援体制の構築について 一横浜市立小学校へ児童支援専任教諭の全校配置から 10年を経過して…その成果と課題— 齋藤 宗明
- 知的障害児のプランニング —課題解決時の発話の検討— 田坂 裕子
- 学校理科教育現場における事故事例とその対策(3) 長島 宏希
- 「主体的に学習に取り組む態度」を育てる授業 —地域の材を活用した中学校歴史的分野の学習— 山下 昌永

研究ノート

- 「教育課程論」における「本時の展開」 鈴木そよ子
- 数学科教育の指導観の今日化についての一考察 —教室における指導から考える— 伊藤 真人
- 大学教職課程と教育委員会の連携における課題 —教員養成と採用の接続を中心に— 吉岡 治

指導法・実践報告

- 「教科教育法Ⅲ(理科)」における学生の模擬授業 苗川 博史
- 遅れがちな高校生を支える英語の授業づくり 萩原 一郎
- 求められる今後の「総合的な探究の時間」への取組み —教科横断的な取組みとカリキュラム・マネジメントの実践例— 堀 俊

第53号

論文

- 国語科CRメソッドの開発に向けた高校国語科実態調査 澤口 哲弥
- 中高理科教育法(4) 関口 昌秀
- 学習につまずきを持つ児に対するアセスメントとしての算数文章題の利用可能性 田坂 裕子
- 学校理科教育現場における事故事例とその対策(4) 長島 宏希
- 保健の学びの満足と実践からみる「生きる力」の検討 —大学生の既習した保健学習の実態より— 林 園子
- 豊かさの質を考える授業 —持続可能な地域づくりの担い手を育てる中学校公民的分野の学習— 山下 昌永

研究ノート

- 数学科における授業指導の考え方に関する一考察 —数学科の学力観の転換は可能か— 伊藤 真人
- 工業高校における資格取得の現状と課題 後藤 博史
- 歴史教科書における被差別身分についての記述の変遷と指導上の留意点 小宮 龍一
- 江戸時代の身分制度の正しい知識と中学・高校における指導について— 苗川 博史
- 湘南ひらつかキャンパスにおける生きまの観察記録 岩元 明

指導法・実践報告

- 中高の英語教員を志す学生のための英語の基礎知識 —「教職基礎研究」(基礎ゼミ)での試みをもとに— 萩原 一郎
- 「神奈川らしいコミュニケーション・スキル」の導入 —高等学校における地域及び小中学校との連携— 堀 俊
- ボランティア・ワークキャンプを通して経験した学生の成長プロセスについて 磯田 浩司

後輩へのメッセージ ～教員・公務員採用試験合格者より～

神奈川県 高等学校 公民 合格
「自分を大切にしながら努力する」
法学部法律学科 4年 宇佐美 慈人

私は、高校生時代に教員を目指そうと思いましたが、私の性格上、一度決めたことを成し遂げるにあたり完璧さを求めてしまうところがありませんでした。しかし、完璧さを求めてしまうとあまり体調を崩すこともあり、自分を追い込みすぎるのではなく、「自分を大切にすること」も必要だと痛感しました。この経験を活かし、教育実習期間中や教員採用試験の勉強においても常に頑張りすぎるのではなく、時には息抜きなどをしてメリハリをつけて取り組みました。

私が教員を目指す最終的な決め手となったのは、ボランティア活動での経験でした。大学3年生から始めた小学校ボランティアでは、朝の職員室の空気感や私の小学生時代と今の小学生とのギャップ、特別支援のリアルな現状などテキストや講義では学びきれない大切なことを教えていただき、「教員という仕事に私は向き合えるか」と自分に問うことができました。そして何よりも、

皆さんも是非、実際の学校現場で自分自身に問いかけながら、じっくりと考えてみてください。

相模原市 中学校 英語 合格(大学推薦)
「感謝の気持ちを忘れず」
外国語学部英語英文学科 4年 齋藤 萌

まず、一番にお伝えしたいことは、私だけの力で合格できたわけでは決してないということです。教員になりたいと思った中学生時代から今まで、たくさんの人に支えられています。これから、たくさんの方に支えられ、助けてもらい今の私がいます。これから、たくさんの方の力で、不安を感じ、うまくいかないことも、自信を失うこともあると思いますが、でも、それは教員を目指す人なら誰もが不安に思うことだと思います。そんな

横浜市 中学校 保健体育 合格
「自分の思い」
人間科学部人間科学科 4年 沼澤 詩織

「私も先生みたいにノートに判子を押したい！」小学生の私はこんなことを思っていました。児童生徒として過ごしてきた中で、気づいた教員という職業を希望するようになっていきました。教職課程を履修する中で、本当に教員になりたいのかと自問自答することも多く、両親に泣きながら相談したこともありました。しかし、教員になるために前に進むことは止めませんでした。その結果、悩んで立ち止まっても後退しないことで「楽しい」と思えることに出会うことができました。学校ボラン

「私も先生みたいにノートに判子を押したい！」小学生の私はこんなことを思っていました。児童生徒として過ごしてきた中で、気づいた教員という職業を希望するようになっていきました。教職課程を履修する中で、本当に教員になりたいのかと自問自答することも多く、両親に泣きながら相談したこともありました。しかし、教員になるために前に進むことは止めませんでした。その結果、悩んで立ち止まっても後退しないことで「楽しい」と思えることに出会うことができました。学校ボラン

長野県 高等学校 数学 合格
「仲間と繋がりを大切に」
理学部数理解析物理学科 4年 丸山 大喜

私が伝えたいことは、仲間や繋がりを大切にしたいということです。私は勉強が苦手ですが、友人や先生方にアドバイスを頂き、それを実践したことが合格に繋がりました。一次試験を受け、特に大切だと感じたことは、過去問題をしっかりと解き、傾向や自分の苦手分野を分析することです。わからない問題は解答の書き方を友人や先生方に教えて頂き、そこで得た

川崎市 中高 理科 合格
「自分だけの体験」
理学部生物科学科 4年 成川 真菜美

私は中学生の頃から漠然と「中学校の教員になりたい」と思い、大学まで進学しました。2年生のとき、講義で教員採用試験に合格した先輩方のお話を聞き「私は素晴らしい先輩たちのようになれるだろうか」と、憧れと不安を感じていました。もちろん、どこにだって不安はつきものです。教員の道へ進むことを迷った時期もありましたが、採用試験や教員になることに対する不安を取り除くためにどう対処したのかという、それは「自分だけの体験をすること」でした。母校での学校ボラン

センターの「かながわティーチャーズカレッジ」などで出会った人たちの体験は、私の教員になることへの意識を大きく変えてくれました。体験の内容は、教育に関わることで、そして大学の中だけで体験できないことばかりでした。機会は自分から探せばたくさんあります。そしてその自分だけの体験は、あなたの教員としての個性を伸ばしてくれるはずですよ。自己アピールの用紙はみ出すくらいに、たくさんの方に読んでほしいです。私は、自分だけの体験を胸に、教壇に立ちます。

横浜市 事務職 合格
「社会教育実習で見たもの」
人間科学部人間科学科 4年 藤本 幸

私が公務員を目指し始めた理由は漠然としたものでした。それが確固たる思いに変わったきっかけは、「社会教育実習」だと感じています。子どもへの支援に興味があった私は、川崎市にある「フリースペースえん」を実習先を選びました。そこで子どもたちがのびのびと過ごす様子を見て「地元公務員になり、このような場所の存在をもっと広めたい」と思いました。この思いは面接で質問に答えられずとなりました。

編集後記
数多くの卒業生を輩出した湘南ひらつかキャンパスが今年度も閉鎖となります。寂しい気持ちもありますが、これまで3キャンパスに分散していた力を結集するチャンスでもあります。今以上に神奈川県が、教育現場に貢献していきたいです。 望月耕太

2023年度 資格教育課程センター 運営委員会名簿

- 委員長 大西 勝也
- 副委員長 関口 昌秀(教職課程) 関口 博巨(学芸員課程)
- 【教職課程】 荻野 佳代子 加藤 美智子 古屋 喜美代 間山 広朗 安部 賢一 鈴木 英夫 鈴木 そよ子 望月 耕太
- 【社会教育課程】 齊藤 ゆか
- 【学芸員課程】 安室 知 山本 志乃 角南 聡一郎 丸山 泰明 廣田 律子 佐藤 たまさ
- 【日本語教員養成課程】 富谷 玲子
- 【資格教育課程】 小川 繁弘 里村 友実 佐武 亜紀子 加瀬 美鈴 提水流 勇
- 【平塚教務課】 小金 由理奈 庭野 真帆